

IF 学成果発表会① 感想

初めての英語発表の機会で大変勉強になりました。また、様々な分野の先生方からご指摘をいただき、今後の展望や発表の仕方について改めて考える良い機会となりました。

高山 昌理子（医化学）



他教室の教員の先生にお話し頂くことはあっても、同じような立場の大学院生の発表を聴く機会はなかなかないので、新鮮でした。皆様の研究の質の高さに驚くとともに、刺激を受けました。

中道 崇（腎高内）

小グループで様々な研究室に所属する学生が成果を持ち寄って発表するという形式は初めてでしたので、とても興味深く参加させていただきました。私自身も貴重な機会をいただけてありがたかったと感じております。違う分野の違う手法を使った研究発表をじっくりと聞かせていただく事で、新たに感じる事や、気持ちの面でも刺激を受ける事が多く、今後の自分の研究にも活かせると思っています。貴重なお時間を割いて座長をしていただき、発表や質問がしやすいようにお心遣いをしていただいた下川先生には本当に勉強させていただく事が多く、感謝の気持ちでいっぱいです。また発表に対して丁寧な質問をしていただいた先生方や参加者の皆さんにもこの場を借りてお礼を申し上げます。参加人数や発表形式などは、またさらに検討していくとの事ですが、これからも良い発表会であってもらえればと思っています。ありがとうございました。

豊原 敬文（腎高内）

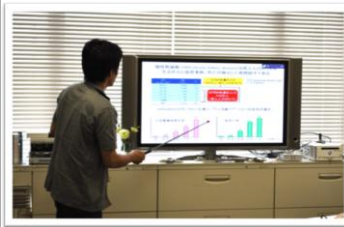
今回の成果発表会ですが、他の分野の研究の話を聞く機会というものは以外と少なく大変勉強になりました。また、同時期に学位取得を目指す他の学生の発表は私にとっても大変刺激となり、最後の追い込みをかける活力になるかと思えます。学位審査前のプレゼンテーションの練習の場としても最適な時期だったと思えます。

この度は貴重な機会を与您いただき誠にありがとうございました。
川口 桂（消化器）

何回か他の学会で発表させて頂いたことはあるものの全て専門分野内でしたので、今回他の分野の先生方のご発表を聞くことができまして、皆様がそれぞれの分野で大変ご活躍しているのを見て、とても感心しております。また、専門分野外の知識も得ることができ、まだまだ自分の学習は足りないなあと実感しています。

非常にいい勉強・経験をさせて頂きました。RAではなくなりますが、このような発表会は是非今後も参加していきたいと思っています（清聴するだけでも）。

珠蘭其其格（循環器病態学）



研究室以外の場所での発表の場を与您いただき、研究結果をまとめる良い機会となったのはもちろん、異なる分野の先生方の前で発表をすることでプレゼンテーションの訓練としても貴重な経験になったと感じています。特に、英語での発表をする機会がなかなかありませんので、この発表会はとても良い訓練になり、参加させていただいて良かったと思っています。

開催にご尽力いただきました NM-GCOE の先生方、拠点支援室の皆さま、本当にありがとうございました。

小林 枝里（医化学）

